

議 事 録

会議名	山梨がんピアサポート希望の会 第47回定例会
日 時	2015年3月29日（日） 10:00～12:00
	山梨大学医学部管理棟2階中会議室
	K.H・Y.T・K.W・Y.K・Y.O・S.O・M.S・M.K・R.S・S.Y・C.K・M.N・N.W F.O・C.K・R.A・N.W・M.K（18名）オブザーバー：佐藤教授

議 題	1、第46回定例会振り返り 2、事務局会議の報告と提案（総会を兼ねて） 3 事例検討 4、その他
-----	---

議事内容

1、について

- がんや治療薬についての基礎知識は必要だが、スキルアップの勉強会としては、サポーターとしてのあり方や、相談者への接し方のスキルアップが必要ではないかという意見もあった。

2、について

- 新年度の事務局体制についての提案と承認
- 新年度にむけて、名簿作成のための確認について
- 会計報告
- 平成26年4月～平成27年3月までのピアサポート相談件数。

「事業団」 25件（総相談件数約60件）

「しゃきょん」 13件（リピーターの方が多い）

「事業団」での活動はもっと広報に力を入れていく。「しゃきょん」はピアサポートの継続を依頼されている。南アルプス市は健康啓発事業に力を入れており、官民連携で取り組んでいく方針。今後も「しゃきょん」でのピアサポートは順調にすすんでいくと思われる。

山梨県が作成した、県下統一がん療養手帳「わたしの手帳」の説明を、ピアサポートでもして欲しいと依頼されている。手帳についての問い合わせがあった時の窓口の役割をサポーターは理解しておき、手帳が普及・定着するように協力していく。

3、について

- ①リピーターとして何回か相談にみえている方。何回か来所されているうちに、話しの内容や表情が明るくなり、最近、仕事を再開されることになった。継続的なサポートの大切さを共有した。
- ②がん患者としての不安な気持ちを誰かに聞いてもらいたいのに、どこで誰に話したらいいのか分からず、ピアサポートで話しを聞いてもらえて良かった。また来たいと話されていた。傾聴することの大切さの再確認。
- ③表向きの相談と抱えている本当の悩みは違うかもしれないと、サポーターが気付くことも大切。病気以外のことも何でも話して良いという雰囲気を作ることも大切。体験者だから話せること、相談者の心の琴線に触れることもあるが、ピアサポーター自身の生き方、

考え方も問われるところでもある。相談者に寄り添うことの難しさと大切さをしっかりと理解し、常にスキルアップしていくことが必要である。

4、について

■会の活動費を得るために、社会貢献の為の助成金などに応募してみる。

会員の親睦も兼ね、定期的にフリマに参加する。

■4月・5月のシフト確認

■次回定例会 4月26日(日) 10:00～山梨大学医学部管理棟2階中会議室。新年度も定例会は毎月の最終日曜日に行う。

■次年度の定例会はすべて最終日曜日の10:00～12:00とする。

次回予定

第48回定例会 4月26日(日) 10:00～ 山梨大学医学部管理棟2階中会議室

※新メンバーも加わり、色々な事例検討を行う予定です。ぜひご参加下さい！

司会：若尾

文責：M.K